

2019年9月13日
教務学生委員会

2019年度前期授業評価のまとめ

今年度後期の授業評価アンケート調査の結果概要を以下にまとめる。ほとんどの基幹教員、講師から回答が得られ、アンケートの回収率は非常に高い。概要を以下に記す。

	登録学生数(研究生含)	回答者		授業満足度					授業目的達成度				
		数	%	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
研究科共通	52	28	53.8%	0	0	2	8	17	0	0	4	6	18
専攻科目	233	210	92.7%	7	13	18	84	109	6	9	29	81	106
合計	285	238	83.5%	7	13	20	92	126	6	9	33	87	124

※ 授業満足度、授業目的達成度ともに5が最も高く、1が最も低い。

【総評】

1. 満足度・達成度ともに、昨年度とほぼ変わらず、平均して高い評価を受けている。
2. 学生からの要望・意見として、議論・ディベート・事例研究・ロールプレイ・模擬裁判等、参加型の授業形態を望む声が多い。
3. 課題の量が多すぎる、少なすぎるなど、学生の能力によって、異なる要望が出ており、教員がそれぞれの授業において適切なバランスを判断する必要がある。
3. 教員からの意見として、授業中の議論に参加しない学生や、予習をしてこない学生等、学習態度が受け身な学生がいることが指摘された。学生のモチベーションが高まる授業設計の必要性が指摘される。